

2010年09月26日

セコム山陰株式会社 行動計画(第2回)

社員がもっと子育てや介護に関われるよう、仕事と家庭を両立しやすい企業風土をつくる。

1. 計画期間 2010年9月26日 ～ 2012年9月25日までの2年間

2. 内 容

子育てを行う労働者の職業生活と家庭生活との両立を支援するための雇用環境の整備

目標1：両立支援制度について従業員に周知し、利用実績を高める。

【 対 策 】

- 2010年12月 両立支援についての意識調査アンケートを実施する。
- 2010年12月 両立支援のアンケート結果について社内報に掲載する。
- 2010年12月 両立支援のアンケート結果についてグループ討議を行う。
- 2010年12月 両立支援制度についてガイドブックを作成し一般社員へ配布する。
- 2011年12月 両立支援についての意識調査アンケートを実施する。
- 2011年12月 両立支援のアンケート結果について社内報に掲載する。
- 2011年12月 両立支援のアンケート結果についてグループ討議を行う。

働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備

目標2：所定外労働の削減のため、社員の毎月の総残業時間を3,000時間以内とする。

【 対 策 】

- 2010年 9月～ 毎月の社員会議にて総残業時間をチェックし、3,000時間を超過している場合、その原因について討議し対策を検討する。

目標3：フレックス休暇の取得率を年80%以上とする。

【 対 策 】

- 2010年 9月～ フレックス休暇取得率の現状調査より、更なる取得促進に向け社員会議にて討議する。